

Dean's Message

地域医療・福祉に貢献できる
医師・看護職・心理援助者と
世界に羽ばたく研究者を目指して

香川大学医学部の歴史は1978年の香川医科大学創設にさかのぼり、
1996年に看護学科を設置、2003年に香川大学と統合、
そして2018年に全国の医学部で初めてとなる臨床心理学科が誕生しました。
人間性の豊かな医師・看護職・心理援助者を養成し、
地域医療・福祉に貢献できる人材を輩出するとともに、
世界で通用する医学、看護学及び臨床心理学の教育研究を目指しています。
教育では特に臨床実習を重視しており、附属病院での実習に加えて、
地域の医療機関等での実践的な実習など、充実したカリキュラムになっています。
医学部に拠点を置くサークルが数多く有り、また国際交流も盛んで、
海外留学や外国人留学生との交流など、充実した学生生活を送ることができます。
一人一人の夢が叶うよう、医学部は一丸となって皆さんを応援します。

香川大学医学部長 上田 夏生

世界がきみを待っている。



Kagawa University

Faculty of Medicine Guidebook

医学科

Kagawa University Faculty of Medicine

Humanity

愛しく想う心。冷静な判断。

学び続ける姿勢。

医師に必要なすべてを、いまここで学ぶ。

基本理念

1. 世界に通ずる医学、看護学及び臨床心理学の教育研究を目指す。
2. 人間性の豊かな医療人及び心理援助者、並びに医学、看護学及び臨床心理学の研究者を養成する。
3. 医学、看護学及び臨床心理学の進歩並びに人類の福祉に貢献すると共に地域の医療及び心理援助の充実発展に寄与する。

医師としてあるべき姿を追求し、学ぶ場所。

地域の方々に愛され信頼される医療人になるためには、どうすればよいのでしょうか?香川大学医学部では、その問いに答えるべく、さまざまな学びの場を用意しています。

人間性豊かで信頼される医療人になることを目指して、全学共通教育で幅広く教養を身につけ、専門教育課程では基礎医学と臨床医学の知識を深いレベルで結びつける教育カリキュラム。学生自身が自主的に学び主体的に問題意識を持てるよう、また問題解決能力の育成を促す学習カリキュラム。これらを用意することで、医療人として大切な、自ら学び続ける強い意思が涵養できるよう支えています。臨床実習を重視し、附属病院での実習のみならず県内の医療機関での実習の機会も多数用意しています。

香川県には多くの離島があり、そこでの地域医療へ貢献することも大事な使命と捉え、地域に根ざした医療人育成に努めています。さらに、医療

のグローバル化に伴い、国際交流・国際貢献もこれからの医師に求められる重要な使命となってきました。医学科では、英国のグラスゴー大学、ニューキャッスル大学、ロンドン大学セントジョージ校、ブルネイ・ダルサラーム大学への学生派遣(留学)、中国の河北医科大学、中国医科大学との交換留学などを通じ、グローバル化に活躍する医療人を育成しています。毎年、多くの学生が派遣され、たくましく成長して戻ってきます。ローカルとグローバルを経験することが、将来、医療人としてのキャリアに大きな花を咲かせるものと確信しています。



—医学科紹介Movie—

Teamwork

医学・看護・臨床心理、チームで学ぶ意味がある。



01

チームで挑む。

香川大学医学部は、従来の医学科、看護学科に加え、2018年4月には新たに臨床心理学が開設されました。3学科の学生が同じキャンパスで医療を学びます。学科を超えてサークル仲間や友達などで勉強する光景も見られます。同じ目標に向かって励ましあい学びあう心は、医療の現場に立つ将来、多職種連携・チーム医療という形で活かされます。

Local & Global

地域医療と国際医療。両方で活躍できる医師へ。



02

グローバル人材の育成。

地域医療への貢献に加え、世界に羽ばたく人材を応援します。ヨーロッパ、東南アジア、中国などの大学との交換留学を積極的に展開しています。そこでは、彼らと一緒に学ぶことができます。海外の医療事情の情報交換や異文化に触れる経験は、これから国際化・多様化する医療の現場に対応できる力につながります。

Building Networks

先輩・後輩・先生とのつながりが、将来現場で役に立つ。



03

学生と教員との距離の近さ。

香川大学には、それぞれの分野でエキスパートとなる「師」がいます。最新の医学を1対1で教わることができます。しかしながら、身近で教員から教わることは、医学知識だけではなく、医師としての姿・生き方をはじめ大いなる薫陶を受けます。そこから理想の医師像や自らの将来像が育っていくのです。

Small Classes

知識と技術をじっくり身に付けるための「少人数制」。



04

少人数で学ぶ。

医学部カリキュラムでは講義や実習が、少人数で行われることで、より深い理解が期待できます。なかでも、臨床医学実習においては、個々の症例について、教員や学生同士で納得いくまで議論を重ねてこそ深い理解に到達できます。このような経験の積み重ねは、将来医療現場に立つ日のための訓練となっているのです。

Professionals

先輩達からのエール

医師



久保 博之 香川大学医学部附属病院
血液内科 医師

血液内科は、日々の日常を支えてくれる血液細胞や止血・凝固システムに異常を来した患者さん達を診療しています。研究も盛んな領域であり、新規薬剤の発展も目覚ましく、様々な治療法が生まれては多くの患者さん達を救っています。苦しんでいる患者さん達が日々の日常を取り戻すために、私達と一緒に頑張りませんか。

医師



和田 侑希子 香川大学医学部附属病院
消化器外科 医師

私は5年生での臨床実習をきっかけに外科に興味を持ち、大学での初期研修を経て現在は消化器外科医として働いています。医師になって8年経ちますが、まだまだ学ぶことが多いです。学生時代からお世話になっている先輩、後輩、同期達に囲まれて、卒業後も互いに協力し合い充実した環境で仕事をすることができています。

研究者



村上 龍太 香川大学医学部
炎症病理学 助教

香川大学を卒業後、臨床医として数年間を過ごした後、母校の大学教員になりました。主として医師を目指す学生への教育と、医学の発展のための研究を使命としています。どちらもこれからの医療に欠かせないものです。皆さんが医学を学ぶ学生として、また共同研究者として香川大学へ来られることをお待ちしております。

医師



石橋 めぐみ 香川大学医学部附属病院
周産期科女性診療科 助教

香川大学を卒業後、附属病院の産婦人科医として勤務しています。産婦人科はお産はもちろんですが、あらゆる婦人科疾患や不妊症など内容が幅広く、女性の一生を支えるやりがいのある診療科です。当院は卒業生も多いためお互い助け合いとても充実した毎日を送っています。ぜひ皆さん、私たちと産婦人科医療を支えてください。

医師



石川 一朗 香川大学医学部附属病院
精神科神経科 特命助教

精神科神経科は統合失調症やうつ病、認知症などの脳と心の疾患を対象とします。2013年より4疾病(がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病)に精神疾患を加えて、治療すべき5疾病となりました。これは高ストレス社会や高齢社会に伴う患者さんの増加による影響で、精神科医療のニーズはますます増えていくと考えられます。香川大学医学部で学び、日本の精神医療を支えていく仲間となってください!

医師



秋光 純一郎 香川大学医学部附属病院
眼科 医師

香川大学を卒業後、当院で臨床研修を行い、現在は眼科医として働いています。大学病院は専門性の高い医療が行われ、県内から様々な患者さんが紹介されてきます。生活の質を大きく左右する視覚を扱うとてもやりがいのある診療科だと思います。新たに稼働した新病棟と外来で、自分のスキルアップが患者さんに還元されることを喜びに頑張っています。一緒に香川の医療に明るい光を届けましょう!

Study Environment

学びを支える環境

香川大学医学部には学生の日々の自主学習やグループ学習を支える、充実した学習環境が整備されています。

学生は最新機器を備えたシミュレーション学習室や自習室、図書室や教室を自由に使えます。

時には教授陣が学生の自主グループに招かれ講義を行うこともあり、学内全体で学生の主体的な学びを支えています。

KAGAWA UNIVERSITY HOSPITAL

香川大学医学部附属病院は香川県を代表する医療機関であり、最先端の医療、最高の療養環境を提供しています。附属病院では医学科4年生からの臨床医学実習、看護学科3年生からの臨床実習、臨床心理学科4年生の心理実習(チーム医療実習)の場となります。現在病院再開発整備を行っており、2019年度からすべてが刷新・機能強化された新生香川大学病院が活動を始めます。香川大学医学部附属病院は、地域医療機関との連携を強め、地域の中核として「いつも近くにいる大学病院」を目指しています。



■ スキルズ ラボラトリー

患者さんを模したシミュレーションモデルや、診療・検査のためのモデル、モニターなど最新の学習機器が数多く備えられた県内最大規模のトレーニングセンターが学内に設けられており、最新の設備でトレーニングを行います。



■ 図書館

学ぼうとする学生たちを受け入れる図書館。最新の医学書や看護専門書、国家試験対策図書など14万冊の蔵書があり、レファレンス機能、PCと連動した電子図書館的な機能を備えています。



■ 自習室

24時間オープンな自習室では毎日学生が夜遅くまで勉強しています。定期試験、共用試験、国家試験などさまざまな試験を、学生たちが仲間と一緒に学びあい乗り越えていく姿は、香川大学の伝統であると言えます。教室も開放しています。

School Life

心をみがく学生生活

勉強もサークルなどの課外活動も両立させ、充実した大学生活を送る。それが香川大学医学部生の特長です。

さまざまな活動や行事を通して学年や学科を超えた交流が生まれています。

学生時代に培われるセルフマネジメント力やチーム力が、将来の医療現場で役立ちます。



■ 医学部祭

毎年10月には学生が企画・運営する医学部祭が医学部キャンパスで開催されます。芸能人やアーティストを招いてのステージや、部活・サークルの発表、多くの模擬店などにぎわいます。



■ 学生食堂

栄養バランスが良い定番・週替わり・月替わりメニューなどを豊富に揃え、毎日の学生生活を食の面から支えます。1食平均500円程度というリーズナブルな価格も魅力です。



■ 部活・サークル

医学部独自に文科系の部活・サークルが18、体育会系が22あります。よく勉強する学生ほどサークルとの両立が上手く、ほとんどの学生が複数サークルを掛け持ちするのが伝統のひとつに。